

[05_02]九州大学情報基盤センター広報 : 学内共同 利用版表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1470685>

出版情報 : 九州大学情報基盤センター広報 : 学内共同利用版. 5 (2), 2005-10. 九州大学情報基盤センター
バージョン :
権利関係 :

コース管理システム「WebCT」の組織的利用

井上 仁[†]

九州大学情報基盤センターでは、本学における教育・学習活動を支援するシステムとして、コース管理システム(Course Management System: CMS)「WebCT」を運用しています。

CMS とは

高等教育機関における1学期分の講義など、ひとまとまりの教育プロセス(=コース)において、講義時間だけではなく、課外時間での教育・学習活動も含め、トータルに支援することにより、教育効果および学習成果を最大にするためのシステム

と定義され[1]、以下の機能を備えています([2]より引用)。

1. 教材作成・提示、メール・電子掲示板等の学生とのコミュニケーション、オンラインテストの作成・実施・採点・分析、課題の作成・提出・採点・返却、シラバス作成・提示など、教員やティーチングアシスタント(Teaching Assistant: TA)による「教育活動を支援する機能」
2. 教材閲覧・検索、オンラインノート、セルフテストによる学習理解度確認、コースにおけるテストや課題レポート等の成績確認、ブックマーク・ホームページ等のコースに関する情報管理など、学生の「学習活動を支援する機能」
3. コースへの学生等の登録・削除、授業アンケートの作成・実施・分析、テスト・課題等の成績管理、学生の学習進捗管理など、教員やTAによるコース内での教育活動に付随する「コース管理業務を支援する機能」
4. システムへのユーザの登録・削除、コースデータのバックアップ等、CMSの運用・保守のために必要な「システム管理業務を支援する機能」

情報基盤センター広報では、これまでに、『eラーニングシステム－WebCT－の紹介』(2002年 Vol.2 No.2)でWebCTの機能面を中心に解説し、『特集「eラーニングシステム WebCT－導入と利用の展開－」』(2003年 Vol.3 No.2)で授業におけるさまざまな実践事例を紹介してきました。

CMSの利用は、個々の授業(コース)における教育・学習活動を単に支援するだけでなく、学生の主体的な学習活動を促し、また教える側がその学習を支援することによって教育が充実する基盤となり得ます。この利点は、個別の授業において実施するよりも組織的に取り組んだ場合によりはっきりとした形で現れると思われます。カリキュラム上での検討に基づき多くの授業でCMS等のシステムを活用した場合、授業の時間を越えた主体的な学習が学生にとって「あたりまえ」の状況になる、つまり自発的な学習態度が文化として定着するということが期待できます。大学間の競争が激化している昨今の状況においては、教育内容にも

[†]九州大学情報基盤センター jin@cc.kyushu-u.ac.jp

増して、大学や各部局がこのような土壌を育てることが大きな力になると考えられます。

以上のことから、今回、WebCTを組織的に利用している事例を紹介することにしました。

医学研究院・医療系統合教育研究センターの吉田素文先生には、『WBTによる医療系統合教育』と題して、平成16年度文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に採択されたプロジェクトを紹介していただいています。このプロジェクトでは、WebCTを組織的に利用しており、特に医学部医学科、医学部保健学科、歯学部では、平成17年度から学部教育においてWebCTの利用を開始しました。

歯学研究院(現在山口大学)の有働公一先生には、『歯学研究院におけるWebCTを利用した電子シラバスと講義コースの構築』と題して、歯学研究院における組織的な取組みとWebCTの活用事例について紹介していただいています。

国際交流部には、『国際交流専門委員会におけるWebCTの利用について』と題して、学内の専門委員会での利用について紹介していただいています。CMSは、本来教育・学習活動を支援するためのシステムですが、本事例のように一種のグループウェア的な利用も可能です。

最後になりましたが、WebCTは以下のURLで利用できます。情報基盤センターでは、定期的なWebCT講習会の開催、メーリングリストによる情報交換、授業での活用事例の紹介等を行っています。詳細については、下記のWebCTのページをご覧ください。

<http://webct.kyushu-u.ac.jp/>

参考文献

- [1] 梶田将司: 「コース管理システムの発展と我が国の高等教育への波及」, 独立行政法人メディア教育開発センター『メディア教育研究』, pp.253-262, Vol.1, No.1, 2004
- [2] エミットジャパン編: 「WebCT: 大学を変えるeラーニングコミュニティ」, 東京電機大学出版局, 2005